

ジャパン・スタディ・プログラムの 進捗状況について

景気対応検討チーム
平成 24 年 2 月 27 日

文部科学省

平成23年度第3次補正「ジャパン・スタディ・プログラム」 概要と進捗状況について

1. 事業の概要

東日本大震災により減少した留学生を呼び戻すため、我が国への留学(特に大学院)を検討している海外の大学生(約220名)を招へいし、東京と東北地方において、政府、大学及び自治体からの説明、被災地の方々、日本人学生及び日本で学んでいる留学生などとの交流等を行うことにより、我が国の現状について正しく理解してもらう機会を提供するもの。

【招聘日程】(3月8日～3月18日まで11日間)

◎東京(3月8日～3月11日、18日日)

- ・関係省庁表敬訪問
- ・日本文化、科学技術力の紹介
- ・政府、大学関係者、企業等による被災や復旧・復興に関するレクチャー
- ・日本人学生や日本で学んでいる留学生等との交流

◎福島・宮城・岩手の3グループに分散(3月12日～3月17日)

- ・各県庁表敬訪問
- ・自治体等関係者による被災状況と復興の現状についてのレクチャー
- ・被災地の大学による被災や復旧復興に関するレクチャー
- ・被災地の視察及び被災地の方々との交流
- ・世界文化遺産(平泉)等の文化紹介やホームステイによる交流

2. 参加学生の募集について

日本への留学生が多い国・地域及び、震災後に日本の若者を招へいしていただいた国・地域から、在外公館や帰国留学生会、大学等を通じて募集。

3. 実施体制・PR方法について

- ・外務省及び観光庁の協力も得て実施(参加学生募集、プログラム企画、事業後の情報発信等)
- ・参加者には、事業終了後のレポートの提出及び、帰国後の報告会開催を義務付けるとともに、本プログラム記録映像を上記報告会で活用するほか、観光庁や日本政府観光局が海外で行うイベントや在外公館で行われる日本留学説明会等で上映し、我が国の現状を広く発信する。

高校生修学支援基金（高等学校授業料減免事業等支援臨時特例交付金） の延長

平成23年度第3次補正予算 189億円

背景・課題

○平成21年当時の経済・雇用状況の悪化を受け、経済的理由により私立高校生等が学業を断念することがないように、平成21年度補正予算により全都道府県に本基金を造成（当初予定期間：平成21～23年度）

【既交付額】

平成21年度補正予算 486億円（21～23年度の3ヵ年分）

【対象事業】

- ①授業料減免事業（私立高校）
- ②入学料減免事業（私立高校）
- ③奨学金事業（国公私立高校）

※平成20年度に比べて増加する対象人数に係る所要額について基金を充当

必要性

現在も依然として経済状況は厳しく、また震災及び円高等の影響もあり、私立高校生等の家計は今後も困難な状況にあることから、引き続き修学支援が必要。（各都道府県からも本基金の延長の要望が多数ある。）

対応

【高校生修学支援基金の延長】 189億円

平成24年度以降も、経済的理由にかかわらず私立高校生等が学業を継続できるよう引き続き支援するため、本基金を更に3年間延長（26年度末まで）するために要する経費を措置。